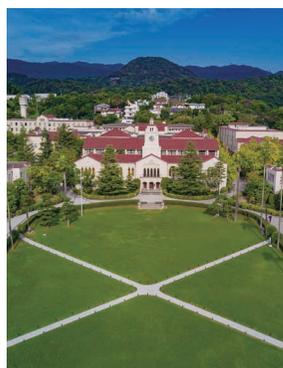


関西学院大学

〒662-8501
兵庫県西宮市上ヶ原一丁目1-155
入学センター
TEL 079-6854613
https://www.kwansei.ac.jp

国境や民族の壁を越え、世界への奉仕者として生きた宣教師W・R・ランパスによって創立された関西学院。1889年の開学以来、スクールモットー「Mastery for Service（奉仕のための練達）」を体現する世界市民の育成に力を注ぎ、2019年に130周年を迎えました。2021年4月には、理工学部を「発展・改組」「理学部」「工学部」「生命環境学部」「建築学部」の4学部を新設。さらに2022年度からは、文系10学部のうち5つの学部（商、法、経済、教育、総合政策）でカリキュラムを刷新します。また、2021年度入試から一般選抜入学試験の受験機会を拡大し、受験生がより多くのチャンスを得られるようになっていきます。



西宮上ヶ原キャンパス

チャレンジ精神と複眼的視野を兼ね備え 確かな実践力で世界の課題解決に挑む Borderless Innovator を育成

神戸三田キャンパスを再編し「境界を越える革新者」を育成

関西学院大学は、西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス、神戸三田キャンパス（KSC）の3キャンパスから構成されます。このうち、理学部と総合政策学部の学生が学ぶKSCでは、2021年に理工学部を「生命環境学部」「工学部」「工学部」「生命環境学部」「建築学部」の4学部を新設しました。

このKSCの新たなコンセプトは「Be a Borderless Innovator」。国境、文系・理系、学問分野、大学と社会など、さまざまな境界を飛び越える「Borderless Innovator（境界を越える革新者）」として活躍するキャンパスを目指します。

同時に、KSCの重点研究テーマの一つをSDGsでも掲げられている「持続可能なエネルギー（Sustainable Energy）」に設定。理学部の次世代有機EL、工学部のパワーエレクトロニクス、生命環境学部の人工光合成、建築学部の環境共生型スマートシティといった研究を推進しながら、総合政策学部が蓄積されたナレッジも活用し、持続可能な社会の実現を目指します。

また、各学部の基礎科目で構成される「KSC分野横断科目群①」と「SDGsへの理解を深めるための「KSC総合教育科目」を新たに設置しています。

さらに、実社会を見据えた取り組みとして「アントレプレナー育成プログラム」があります。これは、「KSC分野横断科目群」と「ベンチャー起業家講座」「ベンチャービジネス演習」「AI活用人材育成プログラム」を組み合わせて、学生の起業をバックアップするもの。経営学・知的財産・AIなどの科目を学ぶとともに、実際に事業を運営する実践体験を積み重ねます。プログラムの最終クールでは、卒業後に取り組みたい事業プランを作成。起業家の卒業生による協力が得られるのも大きな魅力となっています。

また、ビジネスマインド醸成を目的とする新たな学びの場「BIZCAFÉ」をKSC内に開設しています。

高度情報社会での実践力を培うAI活用人材育成プログラム

「AI活用人材育成プログラム」は、日本アイ・ピー・エム株式会社との共同開発によるもので、2019年度から開講されています。同社が実際のプロジェクトで得た知見を基に、プロジェクト遂行に求められる能力・資質を定め、関西学院大学の教員と共同で開発したものであり、「AI・データサイエンス関



連の知識を持ち、それを活用して現実の諸問題を解決できる能力を有する人材を「AI活用人材」と定義しています。

到達目標としては、「AI活用スキル」「アプリケーション開発スキル」「プロジェクトマネジメントスキル」「データ分析スキル」「ビジネススキル」の向上を目指しますが、文系・理系を問わず全学部生を対象とする点が特徴です。初学者を想定した授業内容とし、予備知識がなくても基礎から着実に体系的かつ実践的なスキルを修得。PBLも活用し、即戦力のビジネスパーソンとして備えるべき発想力や実践力を養います。

また、一部科目をバーチャルラーニングにより場所や時間を問わずに学ぶことができます。バーチャルラーニングであれば人数制限は不要となり、2021年度は2000人を超える学生が履修しました。完全オンラインでの新たな学びの形態です。

文系の5学部が新たな学びへカリキュラムを刷新

理系学部が大きく改組した一方で、文系の10学部のうち、商、法、経済、教育、総合政策の5学部もカリキュラムを刷新します。

商学部では、アカデミーとビジネスの連携による「PBL（課題解決型学習）」の拡充や「AI活用人材育成科目」のオンライン導入を実施。また、「ビジネス留学」と「オンライン留学（VE/COOL）」のプログラム開発を推進します。法学部は、学科を横断する5つのコース（「特修」「司法・ビジネス」「公共政策」「グローバル法政」「法政社会歴史」）を設置。関心や目標に合わせて、より深く自由な学びを提供します。

経済学部では、経済学と数学を基礎から身につける科目をより充実させます。また、学科やコースの垣根を取り払い、経済の多様な分野を横

断的に学べるようになります。さらに、2年次の「ブレ演習」では、3年次からの本格的なゼミに向け、自身の興味・関心とゼミの研究分野のマッチングが可能になります。教育学部では、中学校教諭・高等学校教諭一種（英語）の免許課程を新設し、小学校免許と中高英語科、または中高社会科・高校地歴科公民科の免許との併有を可能にする教育課程を整備。さらに、新たに「国際共生科目」も設置します。総合政策学部では、コロナ禍でも国際的な学びをつづけられるよう、英語を使って学ぶ学部独自のオンライン留学プログラムを新設。さらに、30名近くの専任教員がデータ・IoT研究者である強みを生かし、データサイエンス教育を充実させます。これに加え、大学全体で学生に推奨している「ダブルチャレンジ制度」も活用することで、複眼的な視野と多様性への理解を身に付けることができます。

希望学部を複数回受験でき合格チャンスが拡大

関西学院大学では、2021年度の入試から、一般選抜入学試験の受験機会を拡大。2022年度も引き続き、より受験しやすい環境を整備しています。

文系学部では「全学部日程」「学部個別日程」「共通テスト併用/英数日程」などを併願

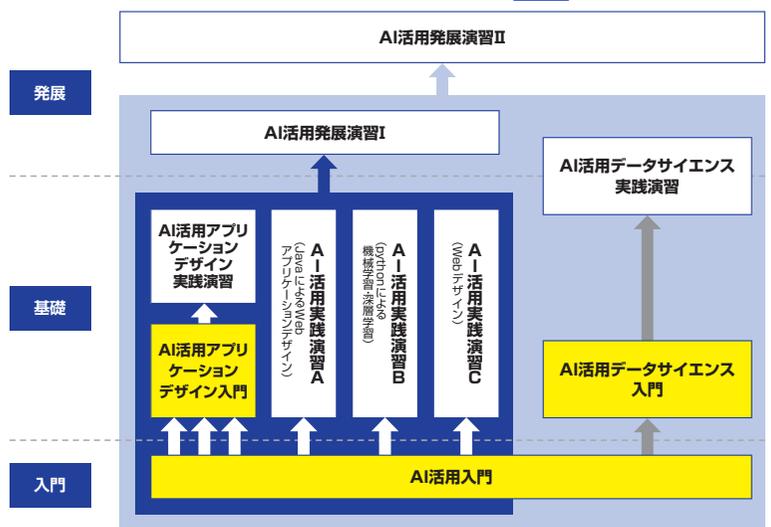
することににより、同一学部で最大4〜5回チャレンジすることができ、す。一方、理学部・工学部・生命環境学部・建築学部の4学部では「全学部日程」に3科目均等配点の「総合型」と「数学・理科重視型」を設け、「共通テスト併用/英数日程」を含めて最大5回のチャンスがあります。

また、文系全10学部の「大学入学共通テスト」を利用する入学試験において、新たに「フ科目型」を導入します。これにより、文系・理系ともに「フ科目型」への出願が可能となりました。

そのほか、総合型選抜をはじめとする入試形態では「探究評価型入学試験」や「文化芸術活動・ポランティア活動を評価する入学試験」などを設置。多様な能力、様々な経験や活動を通じて身につけた豊かな人間性などをアピールできます。

AI活用人材育成科目 カリキュラムツリー

矢印は全て先修条件を示しています。 virtual-learning で開講



(1) KSC分野横断科目群

文理の専門分野の基礎科目で構成。理系4学部と総合政策学部で文理の境界、学問分野を越えた分野横断型の学びを実現する。特に理系4学部では、学部内での専攻分野の横断を積極的に推進。専門外の領域に踏み込んだ研究を可能にする。

(2) BIZCAFÉ

ビジネスマインド醸成を目的とする新たな学びの場。学生と企業の新たな接点を提供し、イノベーションの創出を目指す。日本の大学ではKSCが初出店。キャンパス内のペットボトル削減の取り組みとして、在学中は同店にKSCオリジナルマイボトルを持参すれば飲料が無料になる。

(3) ダブルチャレンジ制度

所属学部や主専攻の学びである「ホームチャレンジ」に加え、それ以外の分野での「アウェイチャレンジ」に取り組むための制度。関西学院大学が全学生に推奨している。「インターナショナルプログラム」は日本を出て世界を知るためのもので、ダブルディグリー留学などを設置。「副専攻プログラム」は所属学部以外の他分野を体系的に学ぶためのもので、複数分野専攻制（MS）やマルチプル・ディグリー制度を導入している。「ハンズオン・ラーニング・プログラム」は実社会を経験することを目指すもので、社会連携プロジェクト科目を開講している。



神戸三田キャンパス

北海道・東北
関東
東京・神奈川
中部
近畿
中国・四国
九州